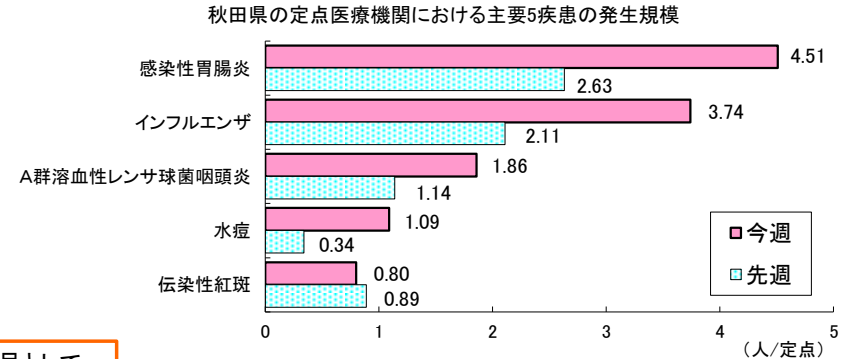




【第51週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で71%増加しています。保健所別では、秋田市、能代、秋田中央、由利本荘、大仙、湯沢で増加、大館、北秋田、横手で減少しています。
2. インフルエンザは、県全体で77%増加しています。保健所別では、秋田市、北秋田、秋田中央、大仙、横手、湯沢で増加、由利本荘で同規模、大館、能代で減少しています。
3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で63%増加しています。保健所別では、秋田市、大館、北秋田、秋田中央、横手、湯沢で増加、由利本荘、大仙で同規模、能代で減少しています。



発生報告

今回の週報は、平成30年第52週と平成31年第1週の合併号として平成31年1月10日(木)に公表します。

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第50週	第51週	増減	第50週	第51週	増減	第50週	第51週	増減	第50週	第51週	増減	第50週	第51週	増減	第50週	第51週	増減	第50週	第51週	増減	第50週	第51週	増減	第50週	第51週	増減			
RSウイルス感染症	0.46	0.31	↘	0.43	0.71	↗		0.50	↘				0.33		↘	0.25	0.75	↗	0.25	0.25		0.25		↘	1.33		↘	1.25		↘
インフルエンザ	2.11	3.74	↗	1.45	5.45	↗	2.43	1.71	↘	2.33	3.33	↗	12.75	7.75	↘	1.50	4.67	↗	1.33	1.33		0.29	1.29	↗	0.40	2.40	↗	0.40	6.40	↗
咽頭結膜熱	0.80	0.66	↘	2.71	2.43	↘				0.50	0.50								1.50	1.25	↘	0.50		↘						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.14	1.86	↗	2.00	2.14	↗		0.25	↗		1.00	↗	0.33		↘	3.00	5.25	↗	0.75	0.75		1.50	1.50		0.33	2.33	↗	0.75	2.50	↗
感染性胃腸炎	2.63	4.51	↗	3.71	6.57	↗	3.00	1.50	↘	1.00	0.50	↘	3.00	6.67	↗	1.75	2.50	↗	1.50	5.00	↗	2.50	4.25	↗	4.33	3.00	↘	1.75	7.25	↗
水痘	0.34	1.09	↗	0.71	0.43	↘		1.50	↗					4.00	↗	0.50	2.00	↗					0.50	↗	0.33	0.33		1.00	1.50	↗
手足口病	0.23	0.06	↘	0.14	0.29	↗	0.75		↘										0.75		↘							0.25		↘
伝染性紅斑	0.89	0.80	↘		0.14	↗	7.75	6.75	↘																					
突発性発しん	0.11	0.11		0.14	0.29	↗	0.25	0.50	↗										0.25		↘							0.25		↘
ヘルパンギーナ	0.09		↘	0.14		↘																			0.33		↘	0.25		↘
流行性耳下腺炎																														
川崎病	0.03	0.03												0.33	↗				0.25		↘									
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*											*	*	
流行性角結膜炎	0.14	0.71	↗	0.33	1.67	↗				*	*		*	*		*	*										*	*		
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎	1.75	2.13	↗	2.00	1.00	↘				5.00	8.00	↗	3.00	1.00	↘	*	*		1.00	1.00			1.00	↗			3.00	5.00	↗	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

・五類感染症のカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症が秋田市保健所管内から1人、侵襲性インフルエンザ菌感染症が由利本荘保健所管内から1人、百日咳が秋田市保健所管内から1人、横手保健所管内から5人、湯沢保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	(人)		
		1週-50週 全国	秋田	51週 秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
	急性灰白髄炎			
二類	結核	20929	135	
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
	コレラ	4		
三類	細菌性赤痢	264	1	
	腸管出血性大腸菌感染症	3793	56	
	腸チフス	35		
	パラチフス	22		
	E型肝炎	430	4	
四類	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	908		
	エキノコックス症	12		
	黄熱			
	オウム病	6		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	6		
	キャサヌル森林病			
	Q熱	3		
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	2		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	77		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎	1		
炭疽				

類型	疾患名	(人)		
		1週-50週 全国	秋田	51週 秋田
四類	チクングニア熱	4		
	つつが虫病	393	5	
	デング熱	195		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	300		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	フルセラ症	3		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ボツリヌス症	2		
	マラリア	47		
	野兔病			
	ライム病	13	1	
	リッサウイルス感染症			
リフトバレー熱				
類鼻疽	2			
レジオネラ症	2057	9		
レプトスピラ症	30			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アマーバ赤痢	799	2	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	251	2	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2148	9	1
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	136		
	急性脳炎	623	6	
	クリプトスポリジウム症	24		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	207	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	655	5	
	後天性免疫不全症候群	1233		
	ジアルジア症	67	1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	459	6	1
	侵襲性髄膜炎菌感染症	34		
	侵襲性肺炎球菌感染症	3136	18	
	水痘(入院例に限る)	434	7	
	先天性風しん症候群			
	梅毒	6661	16	
	播種性クリプトコックス症	169	1	
破傷風	123			
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	75			
百日咳	11179	115	7	
風しん	2713	5		
麻しん	272			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	23			

トピック

<年末年始における感染症の流行拡大に注意しましょう>

年末年始は帰省や旅行などで人の移動が多くなる時期です。それに伴い、他の地域で流行している感染症も波及してくる可能性があるため、注意が必要です。

■注意したい主な感染症

インフルエンザ

全国的にインフルエンザの流行が始まっています。インフルエンザウイルスに感染すると、咽頭痛や咳に加えて、高熱(38℃以上)、頭痛、関節痛、全身倦怠感などの症状が現れます。通常の風邪よりも全身症状が強いことが特徴です。患者の咳やくしゃみのしぶき(飛び散った微細な唾液の粒)を吸い込むことにより感染しますが、混雑しているところでは人と人との距離が近づくため感染が起こりやすくなります。

風しん

7月下旬頃から首都圏の30代~50代の男性を中心に患者が増加して以降、流行が全国に広がっています。免疫を持たない妊娠初期(妊娠20週頃まで)の女性が感染すると、赤ちゃんに障がいや出生後の発育の遅れが見られる先天性風しん症候群(CRS)となる場合があります。

感染性胃腸炎

旅先で最も感染の可能性があるのは食べ物や水を介した消化器系の感染症です。また、ノロウイルス等の感染性胃腸炎の病原体は、手すりなどに付着し、そこに触れた手指を介して口に運ばれる場合もあります。嘔吐物等を適切に処理せずに放置すると、乾燥後にウイルスがちりやほこりと一緒に舞い上がって感染源になることもあります。

■予防

1. 手を洗う際は石鹸を泡立てて、手のひら、手の甲、爪の間、指の間、親指の付け根、手首を十分に洗いまししょう。
2. マスクの着用や咳エチケット(とっさの咳やくしゃみは、手ではなく袖や衣服の内側でカバーする)を心掛けましょう。
3. パランスの取れた食生活と十分な睡眠を取り、体調を維持しましょう。
4. 海外では、動物や蚊・マダニなどが媒介する国内ではまれな感染症もあります。厚生労働省等では、以下のホームページ(表)で各国の感染症や安全に関する詳細な情報を提供していますので、海外に旅行予定の方はご利用ください。

表 海外での感染症予防について

- ・厚生労働省ホームページ: 感染症情報(海外へ渡航されるみなさまへ)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/
- ・厚生労働省検疫所(FORTH: For Traveler's Health) ホームページ: (海外へ渡航される皆さまへ!)
<https://www.forth.go.jp/news/20181119.html>
- ・外務省海外安全ホームページ: (外務省が提供する医療・健康関連情報について)
https://www.anzen.mofa.go.jp/kaian_search/index.html



2018年/2019年シーズン (2018年第36週: 9月3日～)
インフルエンザ情報

定点あたり患者数の推移(インフルエンザサーベイランス)

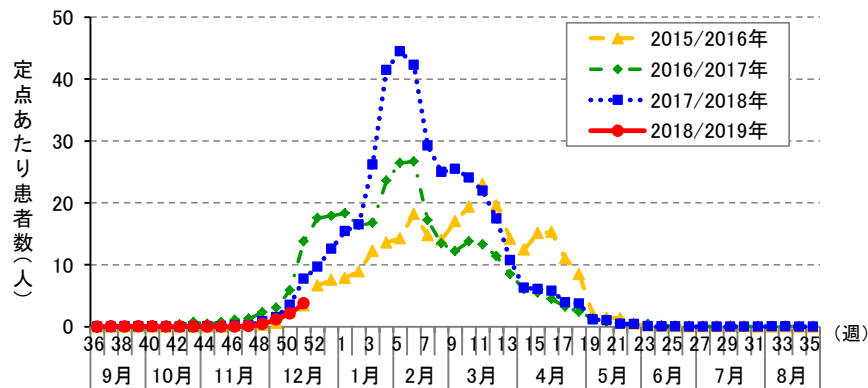


図 秋田県におけるインフルエンザ患者の発生状況

社会福祉施設等におけるインフルエンザ集団発生状況

インフルエンザによる集団発生が3件報告されました。

所在地	施設名称	報告日	有症者数		
			利用者(園児、入院患者)	職員	計
由利本荘市	道川保育園	12/17	75名のうち 22名	18名のうち 2名	24名
羽後町	羽後町立羽後病院	12/17	91名のうち 6名	215名のうち 19名	25名
秋田市	五十嵐記念病院 在宅総合ケアセンター	12/20	53名のうち 7名	34名のうち 3名	10名

○今シーズンの報告状況

累計施設数 7: 社会福祉施設 1、保育所・幼稚園 5、病院 1

<参考>

○昨シーズンの報告数

累計施設数 170: 社会福祉施設 44、保育所・幼稚園 119、病院 7

※原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

インフルエンザ入院サーベイランス

表: 2018/2019シーズン

秋田県におけるインフルエンザによる入院患者報告数

患者数 (人)			
秋田県		全国	
12/17～12/23 (51週)	累計	12/10～12/16 (50週)	累計
7	9	147	530

○入院サーベイランスの報告数は、秋田県内8か所、全国約500か所の基幹定点医療機関からの報告です。全国の報告数は公表前のため、1週間遅れの数値になります。

感染症の集団発生報告

かぜ様症状の集団発生報告が1件ありました。

所在地	施設名称	報告日	有症者数			把握期間
			利用者(園児、入院患者)	職員	計	
男鹿市	男鹿市立北浦保育園	12/17	31名のうち 14名	14名のうち 0名	14名	12/12～12/17

水痘による集団発生報告が1件ありました。

所在地	施設名称	報告日	有症者数			把握期間
			利用者(園児、入院患者)	職員	計	
能代市	すぎ保育園	12/21	77名のうち 11名	23名のうち 0名	11名	12/17～12/21



感染性胃腸炎情報

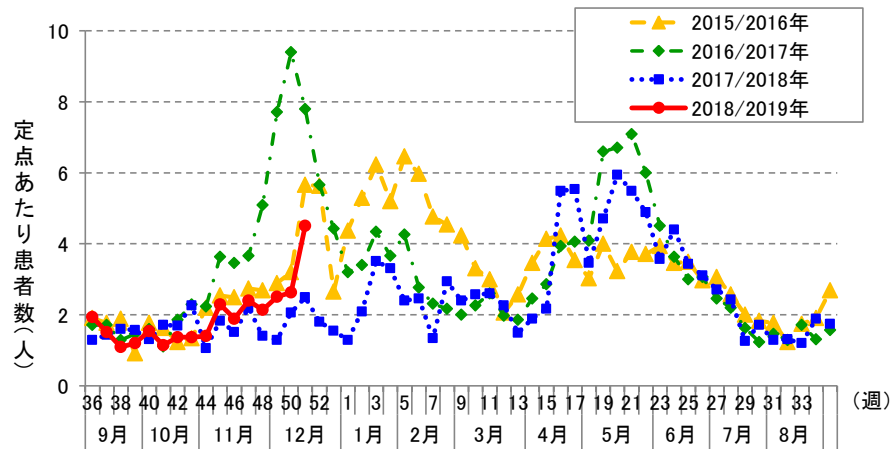


図: 秋田県における感染性胃腸炎の発生状況

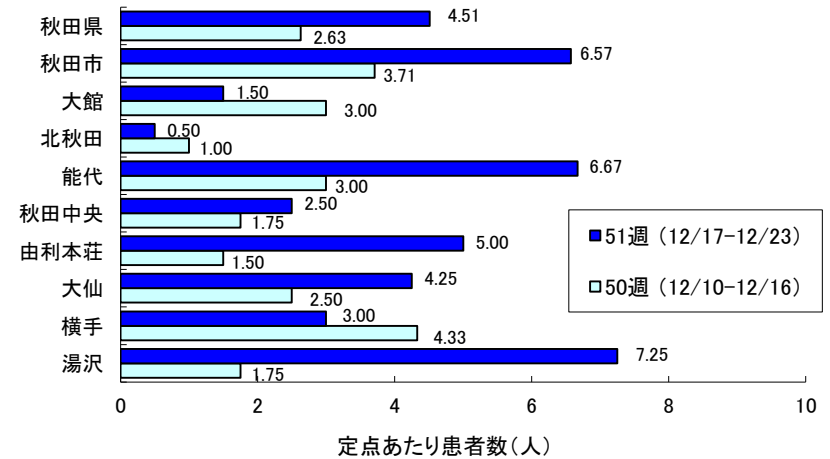


図: 秋田県各保健所における感染性胃腸炎の発生状況

社会福祉施設等における感染性胃腸炎の集団発生について

感染性胃腸炎の集団発生報告が2件ありました。

No	所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状	備考
				利用者(園児、入院患者)	職員	計			
30	秋田市	秋田回生会病院	12/17	56名のうち7名	24名のうち3名	10名	12/3 ~ 12/17	嘔吐、下痢、発熱	ノロウイルスを検出
31	秋田市	白百合保育園	12/19	247名のうち16名	48名のうち0名	16名	12/17 ~ 12/19	嘔吐、下痢	ノロウイルスを検出

【感染性胃腸炎の集団発生状況】
 ○平成30年度 31施設 有症者 453名
 保育所・幼稚園 30、病院1
 <参考>
 ○平成29年度 42施設 有症者 637名
 社会福祉施設 8、保育所・幼稚園 34

※原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
水痘	大館(1.50)	能代(4.00)、秋田中央(2.00)、湯沢(1.50)
伝染性紅斑	-	大館(6.75)

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報	警報		対象疾患	注意報	警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		